



祐介の目

No.163

大田祐介 (福山市議会議員)

英語で行われ、多くの人がきれいな英語を話すフィリピンは日本から最も近い英語圏の国だ。韓国はセブ島に多くの語学学校を作り大学生の英語力を飛躍的に向上させた。福山市立大学も

見習うべきだろう。治安もレイテ島は日本の四国のような場所なので問題無い。

タクロバン市長

世界バラ会議に合わせてタクロバンのアルフレッド・ロムアルデス市長が初来福した。今後、両市の技術・経済的な交流を図りたいと枝広市長と意見交換が行われ、積年の努力が報われた思いがした。フィリピンのレイテ州の州都タクロバン市とは1980年に親善友好都市の提携を行った。しかし、その後の交流は皆無であった。理由は歩兵第41連隊の慰霊団に同行した中川市長が独断で提携したことが原因らしい。提携の経緯がどうあれ、戦争が交流の原点にあるなら意義深い。

15年前、私達はタクロバン福山交流支援センターを立ち上げ民間交流を始めた。陸軍士官学校54期の小坂さんは当時88歳。同期生が30人以上亡くなったレイテ島の激戦地を巡り、同期生に声をかける姿を忘れることはできない。私の息子も現地の中学校に1年間留学させた。授業はすべて

2013年、レイテ島を超大型台風ヨランダが襲い5千人を超える犠牲者が出た。交流支援センターを中心に復興支援に取り組み、現在は台風前より美しいまちになっている。その後、タクロバンの副市長や議員がお礼に来福し、ばら祭にも参加された。そして今回、提携45年にして初めて市長が来福した。ロムアルデス市長はマルコス大統領の従兄弟であり、フィリピンの内政にも影響力を持っている。その力を利用しない手はない。

フィリピンには原発は一基も無く、エネルギーも食料も自給率が高い。人口ピラミッドはまさにピラミッド型であり少子化とも無縁で総人口はまもなく日本を超える。残念ながら日本人のフィリピンに対する偏見は根強いが、介護人材の受け入れや日本からの企業進出にも向いている。福山市の今後の施策に期待したい。